

2. 交流内容に関する事項

(1) 交流内容について(できるだけ具体的にご記入ください)

① 交流名 (事業名)	日本国鹿児島県薩摩川内市・中華人民共和国江蘇省常熟市 友好都市交流事業 日本国鹿児島県薩摩川内市・大韓民国慶尚南道昌寧郡 友好都市交流事業
② 交流の内容	<p>【常熟市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年スポーツ等交流団の相互派遣(1987年から継続実施) ・公式団の相互派遣(1991年から継続実施) ・文化、観光、経済などの交流団の相互派遣(随時実施) ・平佐西小学校と石梅小学校の友好交友校の締結(1997年10月) ・国際交流員招致事業(1995年から継続実施 現在23代目) ・川内商工会議所と常熟市工商業連合会による友好会所関係締結(2008年11月) ・鹿児島純心女子大学と常熟理工学院による友好大学協定の締結(2011年10月) ・薩摩川内市・常熟市の観光促進に関する協力協定書締結(2016年8月) ・薩摩川内市・常熟市の港湾貿易促進に関する協力協定書締結(2016年8月) ・貿易調査団の相互派遣(2016年から継続実施) ・水泳交流団40名受入(2018年9月実施) ・内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部よりホストタウン登録(2018年10月) ・薩摩川内市岩切市長が常熟市栄誉市民表彰受賞(2018年12月14日授与式) ・ホストタウン事業(青少年スポーツ等交流団受入時に、日本人の女子サッカーオリンピックを招聘し、サッカー教室を行った。2019年7月実施) ・常熟市国際友好都市文化観光フォーラム派遣事業(国際友好都市交流30周年記念行事に参加し、文化観光協力宣言の調印、観光PR等を行った。2019年9月実施) <p>【昌寧郡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川内大綱引保存会・霊山綱引保存会との友好保存会関係協定締結(2009年9月) ・公式団の相互派遣(2012年から継続実施) ・青少年スポーツ等交流団の相互派遣(2013年から継続実施) ・職員研修団の相互派遣(2013年から継続実施) ・農業政策促進交流団受入(2018年11月実施) ・牛浦トキ野生放鳥行事(トキ放鳥記念式典・放鳥イベント・記念祝賀会)へ出席(2019年5月実施) ・貿易調査団相互派遣(産業祭に参加し、特産品無料配布やPR等を行った。2019年10・11月実施) <p>【常熟市と昌寧郡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昌寧郡副郡守と国際交流員(常熟市)、薩摩川内市による3者意見交換実施(2018年10月) ・昌寧郡郡守へ国際交流員(常熟市)を紹介(2018年11月5日) ・薩摩川内ポートフェアにて合同(薩摩川内市、常熟市、昌寧郡)による特産品配布や本国のPRを実施(2018年11月24日)

③ 背景・経緯

【常熟市との友好都市締結の背景・経緯】

- ①1980年に故福寿市長(旧川内市)が西日本地区の港湾都市の首長からなる中国の港湾事情視察団の団長として訪中したことがきっかけとなり、1981年に耀華号による「日中友好川内市民の船」訪中事業を実施した。
- ②その後、市民の船に参加された方々の発案により、1982年に、県内初の川内市日本中国友好協会を設立し、重要港湾「川内港」の利活用を促進し、産業経済の活性化を図るため、中国の港湾都市との友好都市を目指すこととした。
- ③1985年に、上海市周辺の港湾都市へ川内港を利用した交易と友好都市締結の可能性を調査するため、「第1次川内市中国経済調査団」を江蘇省の「常熟市」、「常州市」(じょうしゅう)、浙江省(せつこうしゅう)の「寧波市」(ねいは)、「嘉興市」(かこう)の4都市に派遣した。
- ④第1次経済調査団の調査結果をもとに、常熟市、嘉興市の2都市に絞り込み、1986年に「第2次日中友好経済調査団」を派遣し、最終的に「常熟市」に決定した。
- ⑤常熟市に決めた理由としては「・上海市に極めて近い(約100km)港湾都市であること。・揚子江に面した国際貿易港の整備が進められている港であったこと。・緯度が本市とほとんど同じであること。・面積及び人口規模が中国における常熟市の割合と日本における本市の割合と同じであること。・農業や軽工業を中心に発展しており経済的に豊かな都市であること。」などであった。
- ⑥その後、1987年度に第3次経済調査団、1988年度に第4次経済調査団を常熟市に派遣し、友好都市締結の同意を求めた。
- ⑦1987年度から実施していた小・中学生によるスポーツ交流や相互友好訪問が評価され、また、孫平化中国日本友好協会副会長等の力添えにより、1991年7月26日に、川内市と常熟市は友好都市締結調印式を川内市で行った。(※市町村合併により、2004年に薩摩川内市と常熟市との間で友好都市締結の再調印を実施)
- ⑧友好交流の目的として、両市は、「平和友好、平等互惠、相互信頼、長期安定」の原則に基づき、経済、化学技術、文化、教育、体育、衛生及び都市建設等の各分野において、広範な交流と協力をを行い、両市の繁栄と世代代にわたる日中両国民の友好を推進するため共に協力することとしている。

【昌寧郡との友好都市締結の背景・経緯】

- ①1999年9月、日韓親善協会中央会長、昌寧郡等韓国親善訪問団が川内大綱引400年祭に参加され、以降、川内大綱引保存会と靈山綱引保存会が相互交流を継続されている。
- ②2008年3月、金昌寧郡守から行政間交流協約締結の提案の親書を受託した。
- ③2009年8月、向原副市長を団長とする友好調査団を派遣し、友好都市締結は、相互交流を進める中で可能になることを報告した。
- ④2009年9月、川内大綱引保存会と靈山綱引保存会による友好保存会関係協定締結。
- ⑤2009年9月、昌寧郡林企画監査室長を団長とする来日団が本市を訪問した。
- ⑥2010年10月、岩切市長を団長とする友好交流調査団が昌寧郡を訪問し、金郡守の本市訪問と2012年に友好都市締結を目指すことを提案した。
- ⑦2012年3月、金昌寧郡守を団長とする来日団が訪問し、2012年5月に友好都市締結の調印式を昌寧郡で行うことに合意した。
- ⑧2012年5月16日、昌寧郡にて友好都市締結の調印式を実施した。
- ⑨昌寧郡との友好都市締結の理由としては、川内大綱引保存会と靈山綱引保存会が、1999年から民間レベルで交流を続けており、2009年には両保存会による「友好保存会関係協定」が締結され、長きにわたる民間交流が、両市郡の友情を深めるきっかけとなり、また、両市郡にはラムサール条約に登録された湿地を有していること、多くの史跡や温泉に恵まれた地域であること、農業が盛んであることなど多くの共通点があることから、友好都市を締結することとなった。
- ⑩友好都市締結の目的として、両市郡の共通点である「綱引」「温泉」「観光」「ラムサール登録湿地」「農業」などを生かし、両市郡の発展のため交流することを目的とした。

<p>④ 交流の成果</p>	<p>【常熟市】 ①常熟市については、友好都市締結直後から、経済・文化の相互交流を官民一体となって取り組んできた。 ②主な経済交流については、1991年から常熟市から経済視察団、農業考察団などの受入、経済交流に向けた協議を行うとともに、1993年と1995年には、常熟市から技術研修生それぞれ4名が、本市で1年間研修を受けるなど常熟市の経済発展のための技術支援を実施した。 ③また、薩摩川内市経済交流訪中団を定期的に派遣し、常熟市内の日系企業訪問や常熟市の生産品、輸出入品の調査などを行い、今日まで経済促進に向けた協議を重ねてきた。 ④文化交流として、1992年には川内文化経済交流団を派遣し、常熟市、北京市、上海市を訪問し、上海市では公演会に出演するなど、文化交流を行った。その後も、川内文化協会を中心に文化交流訪中団を10回以上に渡り派遣し、日本固有の伝統文化、芸能を常熟市民に披露してきた。 ⑤友好都市締結前から川内港より市民友好の船鑑真等による市民の船が延べ56回寄港し、観光客及び修学旅行生を常熟市に約2,200人、中国全体に約9,100人が参加するなど市民交流も行ってきた。(2011年度まで実施) ⑥青少年スポーツ・文化交流については、1987年から交流をはじめ、今年で32回目となる。スポーツ交流ではバスケットボール、サッカー、水泳、卓球、バレーボールなど、文化交流では伝統舞踊や楽器演奏、書道などの発表が行われている。 ⑦2016年8月には、両市の間で観光促進と港湾貿易促進に関する協力協定書が締結され、経済交流の活性化に向けた取組みを深化していくこととしている。 ⑧2018年10月には、常熟市を相手とする東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を受け、常熟市出身の東京オリンピック・パラリンピック出場選手との交流(陸上・卓球などの競技体験等)を機軸にした多面的な交流事業を行い、更なる交流促進を図り、両市の発展を目指していく。 ⑨岩切秀雄薩摩川内市長が、常熟市と薩摩川内市の友好関係の発展に対する長年の功績をたたえられ、2018年12月14日に開催の常熟市荣誉市民表彰式に出席。 ⑩ホストタウン事業として、日本人オリンピックによるサッカー教室を行い、指導・助言をいただきながら交流を深め、ホストタウン事業の機運醸成を図ることができた。 ⑪常熟市国際友好都市交流30周年記念行事に参加し、国際的に文化と観光分野の交流と協力についての重要性をアピールし、プレゼンテーションでは、当市の観光と木材製品の可能性についてフォーラム参加者へアピールすることができた。</p> <p>【昌寧郡】 ①昌寧郡については、友好都市締結後7年目と日が浅く現在まで、人的な交流を中心に実施してきた。 ②具体的には、相互交流による行政、農商業視察などを行い、また、両市郡職員間による研修交流などが主なものである。 ③青少年スポーツ・文化交流については、2013年から交流をはじめ、今年で6回目となる。スポーツ交流ではサッカー、柔道など、文化交流では新体操や和太鼓、琴などの発表が行われている。 ④2018年11月には、農業政策促進交流団5名が訪問し、薩摩川内ポートフェアにおいて昌寧郡の特産品(玉ねぎエキス、玉ねぎソーメン、コチュジャン、醤油等)の市民へのPRを行った。また、薩摩川内市国際交流員(常熟市より派遣)も薩摩川内ポートフェアに参加し、昌寧郡の特産品のPR等を行い、昌寧郡と常熟市の友好交流を図ることができた。 ⑤牛浦トキ野生放鳥行事へ出席し、国を越えて生態系や環境への先進的な取組みをされている方々とともに貴重な経験を積み、新たな交流に発展していくことが期待される。 ⑥貿易調査団の相互派遣において、両市郡の特産品のPRを行うことで、今後の経済交流の基礎づくりができた。</p> <p>【交流の成果(共通)】 ・常熟市に関しては、これまでの交流の成果として、両市間における友好交流の固い絆が築かれ、この信頼関係を基礎に、様々な分野での協力協定関係が締結されてきており、両市の友好交流と協力関係を更に深化させる取組みが始まっている。 ・また、常熟市・昌寧郡との青少年交流を通じて、世界に目を向け、国際感覚を身につけ、友好親善に寄与したいという思いを持った多くの青少年が育ってきている。 ・職員研修団の相互派遣を通じて、国際感覚を身に付けた職員が育成できている。</p>
<p>⑤ 今後の展望</p>	<p>・常熟市については、各分野で締結された協力協定書に基づき、更なる両市の市民交流や経済交流を広げ、深化させていく必要がある。 ホストタウン制度登録を契機に東京オリンピック・パラリンピックのオリンピックアとの交流を活動を行い市民への多文化共生を深める。 ・昌寧郡については、両市郡の取組みによる信頼構築を礎にさらに交流分野の拡大や市民レベルでの交流活性化を進めていく。 ・常熟市と昌寧郡との青少年交流については、国際友好親善を継続して発展させていく意味で大変意義深いと考えており、今後も継続して取り組んでいく。 ・また、今後さらに薩摩川内市、常熟市、昌寧郡との3自治体による経済交流、文化交流、観光交流、貿易交流が進むことが期待できる。</p>
<p>⑥ その他</p>	

(2) アピールポイント

下記①～⑥の【審査のポイント】に基づき審査いたします。各視点に沿って、事業の特徴等をご記入ください。

その他、強調すべき点については、「⑦その他」にご記入ください。

項目	根拠・理由
① 先進性	<p>・1982年には、県内初の川内市日本中国友好協会を設立し、重要港湾「川内港」の活用を促進し、産業経済の活性化を図るため、中国の港湾都市との友好都市を目指すこととした。</p> <p>・常熟市との友好交流については、継続的な交流事業を実施する中で、両市間の友好交流の固い絆が築かれ、過去には旅客船を川内港に臨時寄港させ、市民訪中団として派遣する他に例のない事業や、2016年8月には、岩切薩摩川内市長と王中国共産党常熟市委員会書記との会談により、観光促進・港湾貿易促進に関する協力協定書が締結され、この観光促進の協定書に基づき、常熟市からは観光交流団約50名が薩摩川内市を訪問し、また、港湾貿易促進の協定書に基づき、薩摩川内市からはこれまで2回、貿易調査団を派遣し、木材や食品に関する商談会を行い、2017年10月には川内港から常熟港まで直行路としては初の木材輸出を実現するなど、先進性のある取り組みを実施している。</p>
② 独自性	<p>・常熟市との友好交流については、友好都市締結の基本的な考えの中に、川内港と常熟港間の貿易による地域経済の活性化を図るという独自の発想があり、この観点から、これまで市民訪中団の派遣事業や近年の観光・港湾貿易促進の取り組みが行われている。</p> <p>・昌寧郡との友好交流については、両市郡の「綱引き」に関連した民間団体(川内大綱引保存会・霊山綱引保存会)による交流がきっかけとなり、友好都市締結につながったものであり、その他、両市郡の共通点である「温泉」「観光」「ラムサール登録湿地」「農業」などを生かし、両市郡の発展のために交流することとしている。</p>
③ 継続性	<p>・常熟市との友好交流については、友好都市締結後28年目を迎え、継続的に実施している公式団の相互派遣を通じて、信頼関係の構築を図るとともに、各団体・各分野で締結された協力協定書に基づく取り組みの具体化を着実に進めることで、活動の継続、効果や実績の定着が期待できる。また、青少年交流については、継続的な実施により着実な成果をあげており、双方が継続実施に前向きである。</p> <p>・昌寧郡との友好交流については、常熟市と同様に、公式団や職員研修団の相互派遣を継続的に実施していく中で、貿易交流事業の拡大も両市郡で検討していく必要がある。</p>
④ 活発性	<p>・常熟市との友好交流については、過去には約2,000名を超える市民を常熟市に派遣し、公式団についても経済・文化・大学など官民一体となったメンバー構成により派遣している。青少年交流についても既に30回を超える相互派遣が行われ、文化交流団も10回以上にわたり派遣している。貿易調査団についても、官民のメンバーで構成し、これまで2回派遣するなど、活動内容は質量ともに充実している。</p> <p>・常熟市水泳交流団40名が訪日し、薩摩川内市水泳協会との水泳交流大会で競い合うなど、親睦を深めた。</p> <p>・昌寧郡との友好交流についても、公式団については、経済・文化・大学など官民一体となったメンバー構成により派遣しており、青少年交流についても、既に6回目となっており、多様かつ多数の者が活動に参加又は関与している。</p> <p>・昌寧郡農業政策促進交流団が訪日し、薩摩川内ポートフェアにおいて特産品のPR等を薩摩川内市国際交流員(常熟市より派遣)とともにに行い、交流を深めている。</p>
⑤ 協働性 ・連携性	<p>・常熟市との友好交流については、両市間の友好交流をベースとし、近年は、各団体・各分野での協力協定書締結に拡大しており多様な主体間での協働・連携関係が構築されてきており、協力協定書に基づき、更なる両市の市民交流や経済交流が実施されるよう、官民が連携して取り組んでいく必要がある。</p> <p>・平佐西小学校と石梅小学校(常熟市)による友好交流校の交流・川内商工会議所と常熟市工商業連合会による友好会所の交流・鹿児島純心女子大学と常熟理工学院による友好大学の交流が継続して行われている。</p> <p>・昌寧郡については、川内大綱引保存会と霊山綱引保存会による民間交流が継続して行われており、民間団体同士の交流をベースにしなが、官民が連携し、更なる友好交流の活性化に取り組んでいく必要がある。</p>

<p>⑥ 効果 (相手方に与えた 影響や効果)</p>	<p>・これまでの継続的な取り組みにより、常熟市・昌寧郡との友好交流についての市民認知度は高く、また、近年は、常熟市の経済発展に伴う観光・港湾貿易促進による地域経済の活性化についても双方の関心が高まってきている。昌寧郡についても、鹿児島県産ヒノキの輸出が実現するなど、地域経済の活性化につながる可能性もある取り組みが始まっている。</p> <p>・常熟市を相手とする東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を受けたことにより、更なる交流促進が期待できる。</p>
<p>⑦ その他 (500文字以内)</p>	<p>・友好都市交流については、両自治体による公式団・青少年スポーツ等交流団・職員研修交流団・貿易調査団の相互派遣を継続して実施することで、信頼関係の構築を継続的に図りながら、今後は、各団体・分野での活動内容を充実させるとともに、企業・市民レベルでの裾野の広い相互交流を促進し、さらに、重要港湾川内港を活用した海外貿易を含め、両自治体の経済発展、地域活性化の図られるよう努力を傾注したい。また、本市には常熟市出身の国際交流員が在籍しており、薩摩川内市国際交流協会と連携し、中国語講座、地区コミュニティ協議会や各種団体に対し出前講座等を実施しており、市民の国際理解、国際協力、多文化共生の醸成が図られるよう更に積極的に取り組んでいきたい。</p>

【審査のポイント】

<p>①先進性</p>	<p>・他団体に広がる先例や模範となりうるものとなっているか。</p>
<p>②独自性</p>	<p>・創意工夫に富み、他団体では見られないような独自の発想や着眼点があるか。</p>
<p>③継続性</p>	<p>・活動の継続、効果や実績の定着が期待できるか。</p> <p>・(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が大いに期待できるか。</p>
<p>④活発性</p>	<p>・活動内容が質量ともに充実しているか。</p> <p>・多様かつ多数の者が活動に参加又は関与しているか。</p>
<p>⑤協働性・連携性</p>	<p>・行政と住民等、多様な主体間での協働、連携がなされているか。</p> <p>・協働、連携により、事業の効率的な実施や成果の向上が図られているか。</p>
<p>⑥効果</p>	<p>・この取組により、地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上等につながっているか。</p>